

～わたらしい あなたらしい 介護をささえるために～

## 認知症普及・啓発講演会

○日時 平成29年9月27日(水)  
13:30～15:30(受付13:00～)

参加無料

○場所 北島町立図書館・創世ホール  
3階 多目的ホール

### 演題 「支える側が支えられるとき」 ～認知症の母が教えてくれたこと～



詩人・児童文学作家

#### 藤川 幸之助 先生

藤川先生は小学校の教師を経て、現在は認知症の母親の介護の経験をもとに、命や認知症を題材にした作品を作り続けられています。また、認知症への理解を深めるため全国各地で講演活動をされています。

(著作)

「徘徊と笑うなかれ」(中央法規)、ポストカード詩集「命が命を生かす瞬間」(東本願寺出版)、詩文集「まなざしかいご 認知症の母と言葉をこえて向かいあうとき」(中央法規)等多数。

写真(読売新聞社提供)

扉

認知症の母を  
老人ホームに入れた。

藤川幸之助

認知症の老人たちの中で

静かに座って私を見つめる母が

涙の向こう側にぼんやり見えた。

私が帰ろうとすると

何も分かるはずもない母が

私の手をぎゅつとつかんだ。

そしてどこまでもどこまでも

私の後をついてきた

\*

私がホームから帰ってしまおうと

私が出ていった重い扉の前に

母はびつたりとくっついて

ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも

母を老人ホームに入れたまま

私は帰る。

母にとっては重い重い扉を

私はひょいと開けて

また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』(中央法規)